

まず、試験項目を確認しますので、記入例のとおり記載頂き、担当者にFAX(03-3436-2251)で送付してください。記載内容を確認し、試験機関と調整後、正式に試験受託となります。

別記様式 1

平成 年 月 日

危険物保安技術協会 殿

データベースへの登録を希望する場合は、この名称が登録申請者となります。法人の場合は、法人名を記入してください。

申請者所在地

〒 105-0000

東京都港区虎ノ門 - -

TEL 03 - -

FAX 03 - x x x x - x x x x

申請者名 株式会社

印

担当者名 x x x x

危険物等確認試験委託申請書

次に掲げる物品の試験を委託申請します

記

データベースへの登録を希望する場合は、この名称が登録物品名となります。試験後の変更は原則出来ませんのでご注意下さい。

1	試験物品名	カスミススペシャル
2	試験項目	第四類 引火点測定試験
3	試験試料の性状等	別記様式 1 - 2 による
4	危険物等データベースへの登録希望及び第3者に対する登録確認書の交付の可否	登録希望 (<input checked="" type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない) 第3者に対する登録確認書の交付 (<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否)
5	備考	
	受付年月日	
	受付番号	

不明な場合は担当者にお尋ね下さい。

希望する方に を付けてください。

注1) 様式のサイズはA4とすること。

注2) 印の欄は記入しないこと。

CAS.NO がある場合には記載して下さい

できるだけ詳細に記載して下さい

1 試験物品名等	(1)試験物品名	カスミスPECIAL		
	(2)CAS.NO	- x x -	(3)用途	潤滑油
2 成分・組成等	構造式、純度、添加剤、不純物等（全成分及び含有率、量）			

トルエン

50.0 wt%

キシレン

30.0 wt%

オレフィン = アルキルエステル共重合化合物

(平均分子量 = 3,000 ~ 3,500、固体)

20.0 wt%

必ず各成分の組成比を重量%で記載するとともに、合計が100%となるようにしてください。

- ・化学的に組成を特定することが困難な物質については、平均分子量、炭素数（例：C₉ ~ C₁₂ 等）等を記載してください。
- ・構造式の複雑な物質については、必ず構造式を記載してください。

3 試験試料の性状等

該当するものに をつけてください。

(1) 状 態	液 状・成 型・粉 粒・その他 ()		
(2) 物 性 値			引用文献等
ア 分 子 量			
イ 融 点			
ウ 沸 点			
エ 蒸気密度(空気=1)			
オ 蒸気圧(at20)			
カ 燃 焼 熱			
キ 対水溶解度(at20)			
ク 発 火 点			
ケ 引 火 点			
(3) 毒性の有無			
ア 許容濃度	ppm	mg/m ³	
イ 経口毒性			
ウ 経皮毒性			
エ 吸入毒性			
オ 皮膚刺激性			
カ 眼刺激性			

できるだけ記載してください。(不明な場合は記載しなくても結構です。) MSDS 等がある場合は添付してください。

	(4)発火・爆発性	
	(5)反応危険性	
	(6)腐食性	
	(7)廃棄方法	
4	人体付着時の措置	
5	漏洩時の措置	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>できるだけ記載してください。(不明な場合は記載しなくても結構です。)</p> <p>MSDS 等がある場合は添付してください。</p> </div>
6	消火方法	
7	保管・運搬時の注意	
8	その他の注意事項	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取り扱い上の注意事項等がある場合は、できるだけ詳細に記載してください。</p> </div>

様式のサイズはA4とすること。

別記様式記載要領

別記様式の記載要領は、次に示すとおりとする。なお、不明の場合は空白とし、該当事項が無い場合には「 - 」を記載すること。また、記載欄が不足する場合には、別紙を添付してもよい。

1 別記様式 1

(1) 申請者所在地

申請しようとする者の所在地を記すこと。

(2) 申請者名

申請しようとする者の名称を記すこと。

なお、確認書の交付を希望する場合には、該当名称が登録申請者として用いられることとなる。

(3) 担当者名

担当者名の氏名を記すこと。

(4) 試験物品名

試験を受けようとする物品の名称又は商品名を記すこと。

なお、危険物データベースへの登録を希望する場合には、該当名称が登録物質名として用いられることとなる。

(5) 試験項目

委託しようとする試験項目を記載すること。（試験項目は別表参照）

(6) 試験試料の性状等

別記様式 1 - 2 による。

(7) 危険物データベースへの登録希望及び第三者に対する登録確認書の交付の可否

危険物データベースへの登録を希望する場合には「希望する」に 印をすること。第三者に対しても交付してよい場合には「可」に 印をすること。

(8) 備考

備考欄にはなにも記載しないこと。

2 別記様式 1 - 2

(1) 試験物品名等

ア 試験物品

1 (4) と同。

イ CAS . NO

CAS . NO (Chemical Abstracts Service Registry Number の略で、アメリカの CAS Chemistry System に登録されている番号) が分かっている場合にはその番号を記載すること。

ウ 用途

主な用途を記載すること。

(2) 成分・組成等

構造式、純度、添加物及び不純物等の全成分の名称及びそれらの含有率、量を記載すること。

(3) 試験試料の性状等

ア 状態

試験試料の性状で該当するものに 印をすること。その他のものにあつては括弧 () 内に記載すること。

イ 物性値

それぞれの物性値を記載すること。なお、文献等を引用している場合にはその文献名を記載すること。

- (ア) 分子量：分子量を記載すること。
- (イ) 融 点：融点を記載すること。
- (ウ) 沸 点：沸点を記載すること。
- (エ) 蒸気密度：空気を 1 とした場合の蒸気密度を記載すること。
- (オ) 蒸気圧：20 における蒸気圧を記載すること。
- (カ) 燃焼熱：1g 当たりの燃焼熱を記載すること。
- (キ) 対水溶解度：水 100 g (20) に対する溶解度を記載すること。
- (ク) 発火点：発火点を記載すること。
- (ケ) 引火点：引火点を記載すること。

ウ 毒性の有無

それぞれの毒性値等を記載すること。なお、文献等を引用している場合にはその文献名を記載すること。

- (ア) 許容濃度：許容濃度値を記載すること。
- (イ) 経口毒性：経口毒性値 (LD₅₀) を記載すること。
- (ウ) 経皮毒性：経皮毒性値を記載すること。
- (エ) 吸入毒性：吸入毒性値を記載すること。
- (オ) 皮膚刺激性：皮膚にふれた場合の刺激性を記載すること。
- (カ) 眼刺激性：眼の中に入った場合の症状を記載すること。

エ 発火・爆発性

発火・爆発性がある場合にはその旨を記載すること。

オ 反応危険性

反応危険性がある場合にはその旨を記載すること。

カ 腐食性

腐食性がある場合にはその旨を記載すること。

キ 廃棄方法

試験後に生じた残物を破棄する場合に、適切な破棄方法があればその詳細を記載すること。

(4) 人体付着時の措置

人体に付着した場合の措置方法及び処理剤等を記載すること。

(5) 漏洩時の措置

漏洩した場合の措置方法及び処理剤等を記載すること。

(6) 消火方法

火災となった場合の消火方法や適切な消火剤及び処理剤を記載すること。

(7) 保管・運搬時の注意

保管・運搬中に注意しなくてはならないことがあれば記載すること。

(8) その他の注意事項

上記記載事項以外に注意しておかなくてはならないことがあれば記載すること。